

第6学年 学級活動（2）指導案

1. 日時 令和5年6月

2. 題材 「水分のとり方を考えようⅡ～体によい水分補給～」
(ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成)

3. 評価規準

| | よりよい生活を築くための知識・技能 | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現 | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度 |
|-------|---|--|--|
| 5年・6年 | 日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。 | 日常生活への自己の適応に関する諸課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。 | 自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合ってよりよい人間関係を形成しようとしている。 |

4. 題材について

(1) 児童の実態

最高学年としての自覚をもち、学校のために働き、下級生の手本として学校生活を送りたいという思いをもっている児童が多い。1年生への手伝い活動を通して、下級生の役に立てていることを実感している。また、クラスの中では賑やかになる場面と静かに人の話を聞く場面を分けて行動することもできている。

学級目標は、どのような気持ちで卒業を迎えたいか、そのためには何をしていけばいいのか、意見を出し合って話し合った。どんなことにも最後まで諦めず挑戦していくという思い。笑顔で卒業したい、そのためには、クラスメイトに対して思いやりをもち接していくという思い。最後の1年を最高のクラスで締めくくるという思いが込められている。常に学級目標を意識して物事に取り組み、人として成長し続けていきたいという思いを大切にしながら学校生活を送っている。集会の後や帰りの会などで、学級目標に近づくことができた場面や最高学年として学校のため、下級生のために行動できた場面を教師が称賛して、子どもたちが笑顔で卒業を迎えられるよう支援している。

学級活動（2）の題材「地震が来たら」では、地震が起きた場面ではどのように行動したらよいかについて考えた。自分の命は自分で守るために、防災訓練から真剣に取り組むことを考え、自分に合っためあてを立てた。「訓練終了後の教室での振り返りまで会話をせず取り組めた。」と振り返る児童もいれば、「地震に対しての危機感が時間を追うごとに薄れてしまったので、次からは最後まで危機感を忘れずにしたい。」と振り返る児童の姿も見られた。

(2) 題材設定の理由

子どもたちは、水分補給のために水やお茶、スポーツドリンク、ジュースなどの飲料水を摂取する。4年生の時の学級活動の授業では、体の中の水分の役割を知り、水分の摂り方について知り、めあてを立てて実践する学習を行った。その時には、のどが渇く前にこまめに水分を摂ることや3食きちんと食事をする事で食事からも水分が摂れることを理解した。また、日頃の学校生活では、各自水筒を持参して水分を摂取している。学年が上がるにつれて、水筒を持参することを面倒くさがり、水分を摂らない児童もいる。

本題材では、暑くなり水分を多く摂るこの時期に、どのようなものを選んで飲めば健康な体づくりにつながるのかについて話し合い、自分に合っためあてを決定し実践していく。また、各家庭に手紙を配付し、家庭でも意識して実践できるようにする。

本授業と実践を通して、健康な体を保つための水分補給の方法を理解し、習慣化していくことで、安全な生活態度を身に付けてほしいと願い、本題材を設定した。

5. 活動の実際

(1) 事前の指導

| 活動の場 | ・児童の活動 | ○指導上の留意点 | 資料 | ☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉 |
|------|-----------------------|--------------------------|---------------------------|--|
| 朝の時間 | ・日頃の飲み物についてアンケートに答える。 | ○日頃の飲み物について思い起こせるよう助言する。 | アンケート (児童の意識を高めるための資料) | ☆アンケートを通して、日頃の自分の水分の摂り方について振り返ろうとしている。 【主体的態度】〈アンケート〉 |

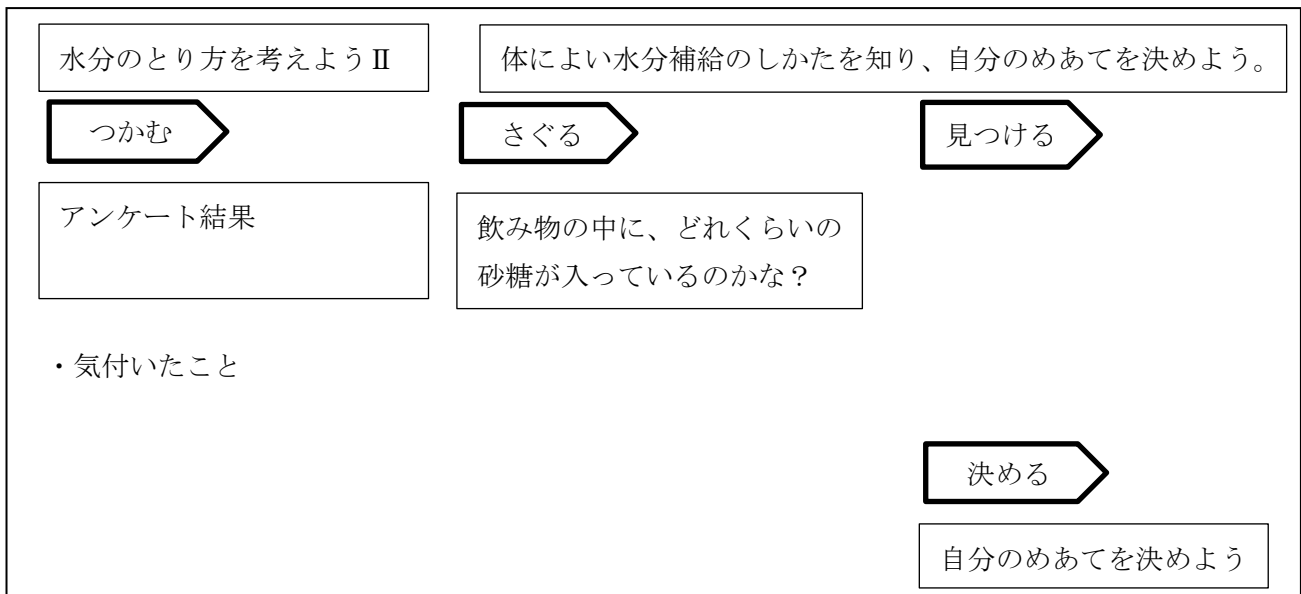
(2) 本時の活動

①ねらい 体によい飲み方に気付き、健康な体を保つための水分の摂り方について話し合い、自分のめあてをもって実践できるようにする。

②展開

| | 児童の活動 | ○指導上の留意点 | ・資料 | ☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉 |
|------------------------------|--|--|--|---|
| 導入 つかむ | 1. アンケート結果を見て、気付いたことを話し合う。 | T1 アンケート結果を提示し、日頃飲んでいる飲み物についての課題に気付くことができるよう声をかける。 | ・アンケート結果 (児童の意識を高めるための資料) | |
| 体によい水分補給のしかたを知り、自分のめあてを決めよう。 | | | | |
| 展開 さぐる | 2. 飲み物の中に砂糖がどれだけ入っているのかクイズを行う。 | T1 飲み物の中には、砂糖がたくさん入っているものがあるということにより実感できるように、実物の砂糖を用意する。 | ・砂糖あてクイズ ・ペットボトル空容器 ・スティックシュガー (ねらいを焦点化するための資料) | |
| 見つける | 3. 砂糖を摂り過ぎると体がどのように変化するかを、理解する。 | T2 一日に必要な砂糖の量や給食で使われている砂糖の量について、わかるように資料を提示する。 T2 それぞれの飲み物の特徴を伝え、自分の生活を振り返るよう声をかける。 | | |
| | 4. 健康な体を保つために、どのように水分補給をすればよいのかを話し合う。 | T1 学校栄養職員の話をもとに、健康な体を保つために、どのように水分補給をすればよいのかを考えられるように声をかける。 | | ☆清涼飲料水の中には、砂糖が多く含まれていることや、砂糖の摂り過ぎは体によくないということを理解している。 【知識・理解】 (発言・観察) |
| 終末 決める | 5. 話し合ったことを参考に今後の水分の摂り方について自分のめあてを決める。 | T1 よい飲み物、悪い飲み物と分けるのではなく、どのように飲めばよいのかめあてを書くように声をかける。 | ・めあてカード (実践への意欲づけのための資料) | ☆自分の体のために、どのように飲んだらよいかを視点に自分なりのめあてを立てている。 【思考・判断・表現】 (発言・観察) |

③板書計画



(3) 事後の指導

| 活動の場 | ・児童の活動 | ○指導上の留意点 | ☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉 |
|---------------|----------------------|--|--|
| 6月7日～ | ・意思決定しためあてを意識して実践する。 | ○学校での声かけ～各家庭に手紙を配付し、家庭でも意識して実践できるようにする。 | ☆意思決定したことを実践している。 【思考・判断・表現】 〈学習カード〉 |
| 6月14日 帰りの会 | ・実践について振り返る。 | ○振り返りを行う機会を設定し、継続した実践になるようにしたり、必要に応じて新たにめあてを立てて取り組んだりできるようにする。 | ☆実践を振り返り、今後もめあてを意識して、水分のとり方を考えながら行動しようとしている。 【主体的態度】〈学習カード〉 |

6. 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料〈アンケート〉

(Google Forms にて質問と回答をする)

○好きな飲み物は何ですか？

○学校では、水をどのくらい飲みますか？

○1週間でどのくらいコーラやサイダー・スポーツドリンク・ジュース・お茶を飲んでいますか？

・1～2日 ・3～4日 ・5～6日 ・ほぼ毎日 ・あまり飲まない

○家でよく飲む飲み物は何ですか？

()

(2) ねらいを焦点化するための資料〈砂糖あてクイズ〉

(2) ねらいを焦点化するための資料〈各飲み物の砂糖使用量〉

(3) 実践への意欲付けのための資料〈ワークシート〉

「水分のとり方を考えようⅡ」がんばりカード

名前()

☆健康な体をつくるためにどのような水分のとり方をしたらよいか、めあてを立てよう。

例:〇〇を～(どのように)する

| | |
|----|--|
| 家庭 | |
| 学校 | |

☆1週間の自分の水分補給について、ふりかえてみましょう。

| 日付 | 口にした飲み物 例:〇〇 コップ1ぱい | ふりかえり(考えたことや次に活かしたいことなど) |
|----|------------------------|--------------------------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| | |
|----------|--|
| 先生から | |
| 栄養士の先生から | |
| おうちの方から | |